

2021年 年頭所感（丸大食品）

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、わが国経済は、経済活動の再開が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きが見られますが、新型コロナウイルス感染症の拡大が内外経済をさらに下振れさせるリスクや、金融資本市場の変動の影響を注視する必要があり、依然として厳しい状況が続いております。このような状況の中、弊社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、企業活動を推進してまいりました。

また、内食需要の高まりから「おうち時間の充実」をテーマにした販売促進を実施し、「燻製屋熟成あらびきポークウインナー」や「いつも新鮮ロースハム」などの主力商品を中心に拡販に努めたほか、人気キャラクターを使用した「おべんとのおすみっこにいれてネ ウインナー」などの新商品を投入し、売上拡大を図りました。その他にも調理加工食品は、家庭での備蓄用商品として、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」シリーズの売上高が伸長したほか、「スンドゥブ」、「サラダチキン」などの主力のシリーズ商品が好調に推移しました。

一方で、外食産業や観光関連の需要は依然として低迷していることに加え、消費者の生活防衛意識の高まりによる価格競争激化や物流コストの上昇などから、非常に厳しい環境となっております。

このような中、本年は、中期三ヵ年計画の二年目となりますが、弊社グループを取り巻く環境の変化にスピード感をもって適応し、新たな『価値』の創造に向け、お客様、お取引先様、株主様、地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様になくしてはならない企業を目指し、ESG経営を掲げ、環境に配慮した企業活動、食育やスポーツ支援活動などにより、持続可能な社会の実現を目指し、役員はじめ従業員一人ひとりが自ら何をすべきか考え、自ら責任をもって行動し、日々チャレンジを続けていきたいと決意を新たにしているところでございます。

旧年にも増して、より一層のご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして明るく実り多い年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2021年1月1日

丸大食品株式会社

代表取締役社長 井上 俊春